

教科(科目)	工業（課題研究）	単位数	3単位	学年(コース)	3年（産業デザインコース）
使用教科書	なし				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

○グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）
～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①主体的に課題を見つける感覚を養い、自ら学び、解決策を創造する資質・能力と産業社会で求められる倫理観と規範意識を育成します。 ②生涯にわたって学び続ける意欲を養い、新たな産業に柔軟に対応する自己指導力を育成します。 ③国際的視野に立って考える姿勢を養い、地域の発展と豊かな暮らしに貢献するために必要な思考力、発想力を育成します。
○カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）
～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①共通教科の学びを強化して、基礎学力の定着を図ります。 ②工業高校で学ぶ基本的な知識や技術を習得し、課題研究や新しいIT技術について、主体的な学び方と実践する場を設定します。 ③将来、国内・国際社会で活躍するために必要なコミュニケーション能力や英語力の向上を図り、多様な価値観を持つ仲間との協働的学習を行います。

2 学習目標

工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1)産業デザインについて体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。 (2)産業デザインに関する課題を発見し、工業に携わる者として独創的に解決策を探究し、科学的な根拠に基づき創造的に解決する力を養う。 (3)課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
--

3 指導の重点

ビジュアル（視覚）、プロダクト（生産）、環境構成（スペース）および工芸（クラフト）など各専門分野を自ら選択したうえで、自ら設定した課題の解決を図るべく、調査、企画、試作などを行い、目的を達成する一連の工程を学ぶ。また、製作発表の機会を設け、プレゼンテーションの知識と技術を身につけさせる。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・産業デザインで学んだ内容を生産活動と関連付けて体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付け活用することができる技術を身に付けている。	・社会における工業の意義や役割に着目して、工業に関する課題を見だし、単に生産者や効率だけを優先するのではなく、取り巻く状況を判断した上で、工業に携わる者として独創的に解決策を探究し、科学的な根拠に基づき工業製品が社会に与える影響を踏まえて創造的に解決している。	・産業デザインの専門的な知識、技術などの深化・総合化を図り、課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展を担うために主体的かつ生産活動を担うために協働的に取り組もうとしている。

5 評価方法

評価方法	評価は次の観点から行います。		
	知識・技術 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
	以上の観点を踏まえ、 ・課題・図面・作品の提出状況と提出物の内容 ・プレゼンテーション能力 などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・課題・図面・作品の提出状況と提出物の内容 ・プレゼンテーション能力 などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業の取り組み（授業態度・課題への取り組み） ・課題・図面・作品の提出状況と提出物の内容 ・プレゼンテーション能力 などから、総合的に評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点 「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5	生徒の興味・関心・進路希望等に応じて、個人又はグループで工業に関する適切な課題を設定しよう。	15 研究テーマの選定 年次計画立案	課題研究についての留意事項確認 年次計画の作成	これまでの学習成果をもとに自分の興味関心を考慮し、以下の分野から適切なテーマを選定し、具体的な目標を設定。 ①DTPに関する製作 ②立体造形に関する研究と製作 ③建築関係の調査ならびに建築模型の製作 ④製品企画販売に関する取り組み ⑤クラフト系テキスタイル系に関する製作 必要とされる資料や材料の収集、購入計画を立案。	15	出席状況 授業態度 課題製作 課題提出状況等
6 7 8 9 10	主体的かつ協働的に取り組む学習活動を通して、専門的な知識、技術などの深化・総合化を図り、工業に関する課題の解決に取り組もう。	72 課題研究の深化 問題解決策の試行	調査・研究・製作手法について	課題製作のための調査や研究などを行い、必要な製作手法について具体的に学び実践する。常に自己評価を繰り返し、製作作品の精度や品質の向上を図る。製作にあたっては自己満足に陥らないよう留意する。	72	出席状況 授業態度 課題製作 課題提出状況等
11 12 1 2 3	課題研究の成果について発表する機会を設けよう。	18 研究結果の整理	研究発表の準備計画 プレゼンテーション準備 結果のまとめと考察 報告書作成	製作や実験のまとめを実施する。結果を十分に吟味し、成果についてグループで考察する。研究発表の計画を行い、プレゼンテーション資料を作成し、実際に発表を実践する。プレゼンテーションの結果を含め1年間の総括を行い、報告書を作成する。	18	出席状況 授業態度 課題製作 課題提出状況等

計 105 時間 (50分授業)

7 課題・提出物等

必要に応じて学習の成果をレポートとしてまとめて提出をしてもらいます。研究内容によっては作品の提出を求めます。

8 担当者からの一言

産業デザイン科において、これまで学んできた知識や技術を活かした研究テーマを設定したうえで、計画的に製作に取り組んでください。また、結果については十分にグループで考察しわかりやすいプレゼンテーションを心掛けてください。